

新たな総合計画を策定しました

総合計画とは、まちづくりの指針となるもので、町がめざすまちづくりの方向やそれを実現するための施策などを定める重要な計画であるとともに、行財政運営の最上位に位置づけられる計画です。

平成13年には、『ひと・もの・自然、調和が奏でる躍動のまち』を基本理念とする大崎町総合計画を策定し、躍動感あふれるまちづくりに努めてきました。

平成22年度で計画期間が終了することを受け、今後10年間のめざすべき将来像を『豊かな自然が宝物 みんなで紡ぐ結いのまち —みんなが主役 新たな時代を開く 夢づくり—』とする新たな大崎町総合計画を策定しました。

豊かな自然が宝物 みんなで紡ぐ結いのまち
—みんなが主役 新たな時代を開く 夢づくり—

協 働

地域コミュニティが一体となり、人の交流・連携を通じて豊かな人材と地域文化を育んでいくとともに、大崎町の持続的な発展をめざし、町民と行政との協働により、活気にあふれた町民主体のまちを創造していきます。

潤いと活力

大崎町に住む人々が、地域が持つ豊かな地域資源を保全・有効活用し、環境共生型の潤いあふれるまちをめざします。

また、産業基盤の整備・充実、多様な交流や若者の定住化を図り、活力あふれるまちをめざします。

健 や か

恵まれた自然環境、培われてきた文化歴史の悠久の地で、快適な生活環境の充実に取り組むとともに、すべての世代がともに支え合い、健康で安らかに暮らし続けることのできるまちをめざします。